

インテークマジックを公開実験

道環境ネットアクセス

【室蘭】環境問題に関心を持つ企業などで組織する北海道環境ネットアクセスは27日、登別市民会館で「エ



環境改善を証明する公開実験

コドライブの実践法とインテークマジック」と題した講演会、公開実験を行い、インテークマジックの持つパワーアップ、燃費向上、有害排気ガス削減、半永久的な性能、経費節減、地球温暖化防止といった数々の利点をアピールした。

インテークマジックとは、車のエアクリナーなどに張るだけで、エンジンの中の空気の流れを整え、燃費効率を向上できる新しい発想の燃費補助システム。

徳本敏高インテークマジック社長は「環境が破壊されている現代において、インテークマジックでCO₂が少しでも減らすことがで

きたら幸いです」と強調した。

北海道環境ネットアクセスの事務局を務める荒川設備(本社・登別)の荒川昌伸社長は「インテークマジックは環境を改善する画期的な商品。車の走り心地や燃費の良さを体感してほしい」と呼び掛けた。

この後、駐車場に移り、公開実験を進めた。参加者の車を使い、インテークマジックを装着する前後の排ガスに含まれる一酸化炭素、炭化水素量を測定、比較した。一酸化炭素、炭化水素とも装着後に差が出て、効果が表れた。装着後は、アクセルが軽く、エンジン音も静かになった。